

演題発表及び講演集の記入要領

1. 演題発表について

- (1) 応募演題の内容は公衆衛生の向上に関係するものです。研究成果だけでなく、報告や活動内容でもかまいません。
- (2) 今大会のテーマ「働く世代の健康支援」に沿った演題を歓迎いたしますが、これに限らず食品・環境衛生関係などの演題の応募も期待しております。
- (3) 発表は口演と示説（ポスター）の2形式で行います。演者の希望を取りますが、会場・時間の都合等で変更をお願いする場合があります。
- (4) 口演は発表7分・質疑3分の予定で、PCプロジェクターの使用が可能です。
- (5) 演題発表を希望する方は5月7日（月）までに演題発表申し込みをしてください。詳しくは東海公衆衛生学会ホームページをご確認ください。

2. 講演集原稿について

- (1) 一般演題の原稿は1演題について1ページです。
- (2) 原稿は所定の様式を用いて、メールで大会事務局まで送付してください。そのまま印刷にかけますので、様式を大幅に変更したり、内容が余白にはみ出さないように注意願います。
- (3) 演題名、演者氏名とその所属（分かる範囲で簡略化も可）を記入してください。
- (4) 当日の発表者には○印をつけ、フリガナまたは（ ）で読み方が分かるようにしてください。
- (5) 原稿の本文は、目的、方法、結果、考察、結論（まとめ）の順に記入してください。

3. PCプロジェクターの仕様

- (1) スライドの使用枚数は制限しませんが、口演時間は厳守してください。
- (2) 発表データを事前に送付いただく予定ですが、大会当日もデータをCD-RまたはUSBフラッシュメモリーにてご持参してください。